

ロスプリベンションセミナーリスト

1. 気象・海象と荒天操船 = 「向い波」と「追い波」航法 =

New

2時間30分（含むDVD放映60分）

▶気象・海象の基礎知識および荒天操船の中でも特に注意が必要な「向い波」と「追い波」をテーマに、海難事故の発生要因となる現象について具体的に解説します。

内航向け

外航向け



2. 走錨事故例と防止

2時間30分（含むDVD放映35分）

▶台風等の荒天による走錨事故例を取り上げ、操船者の視点からどのような避航・避泊計画を検討し、事故防止策を実施するべきかをご説明します。

内航向け

外航向け

3. 内航船の港湾設備損傷防止と事故例紹介

2時間15分

▶内外航船におけるP&I保険事故の統計を分析し、事故の傾向や特徴を解説します。内航船の港湾・漁業設備損傷事故の事例を取り上げ、それらの原因や再発防止策を具体的にご紹介します。

内航向け

外航向け

4. 電子海図情報表示装置（ECDIS）

2時間30分

▶電子海図情報表示装置（ECDIS）の搭載が義務化され、紙海図を使用しない航海が現実のものとなりました。ECDISは有用な航海計器の一つですが、使用方法を誤れば、衝突・座礁といった大事故に至る危険性があります。ECDISの機能、訓練方法および使用時の注意点をご説明します。

内航向け

外航向け

5. 事故例紹介

2時間30分

▶当組合が実際に取り扱った事故や運輸安全委員会の事故調査報告書をもとに、コンテナ船と貨物船の衝突、機関故障、燃料油海上流出の3つの事故を取り上げ、具体的な原因の分析と再発防止策をご説明します。

内航向け

外航向け

6. 機関事故防止のために

2時間30分

▶海難事故のおよそ90%はヒューマンエラーに起因しているといわれています。実際の機関事故について統計資料や当組合にご報告があった事故事例などを分析した結果、多くの事故の根本的な原因はヒューマンエラーであることが分かりました。ヒューマンエラーについて、予防と対策をご紹介します。

内航向け

外航向け

7. 貨物不足損害防止のために

2時間30分

▶当組合において、積荷損害は船員クレームに次いで多くみられる事故です。貨物不足損害を可能な限り回避するため、主にバルカーやタンカーを対象として、当組合にご報告があった貨物不足損害の傾向および積・揚場地でのドラフトサーベイにおける技術的な注意点をご説明します。

外航向け



8. 安全について考える = BRM&ERM =

2時間 45分 (含む DVD 放映 30分)

内航向け

外航向け

▶海難事故の根本的な原因の90%はヒューマンエラーであるといわれており、同種の事故が後を絶ちません。安全とはなにか、ヒューマンエラーを防ぐための考え方、不幸にして事故が発生してしまった場合の再発防止対策の策定方法などについてご説明します。

9. 大型事故分析と傾向 =大型事故を減らすには=

2時間 30分

内航向け

外航向け

▶当組合で扱った内外航船の事故の傾向の分析結果から、大型事故と呼ばれる事故がどの程度発生しており、保険成績にどのような影響を与えているかをご説明します。

10. 「安全管理規程」の実践と事故処理対応

2時間 20分 (含む DVD 放映 20分)

内航向け

▶国土交通省が紹介している「安全管理規程（雛形）内航貨物船」に沿って、具体的な運用方法につき各種資料と併せてご説明します。

11. 港湾設備損傷防止と港内操船

2時間 50分 (含む DVD 放映 35分)

内航向け

外航向け

▶「クレームの統計と事故例の紹介」、「港湾事情の調査方法」、「操船者が知っておかなければならない本船の運動性能」についてご説明します。

12. 内航貨物船 衝突・乗揚げ・錨事故防止 =ひとりブリッジリソースマネジメント=

2時間 20分 (含む DVD 放映 20分)

内航向け

▶「ビデオによる一人BRMの解説」と「衝突/乗揚げ事故例を参照しながら一人BRMの実践方法」を講師の乗船経験を踏まえて、分りやすくご紹介します。

13. 衝突事故の緊急初期対応

2時間 30分 (含む DVD 放映 20分)

内航向け

外航向け

▶事故直後の混乱の中で、被害を最小限に抑え、その後の事故処理を円滑におこなうためには、本船上での初期対応が最も重要です。便利になった通信手段をうまく利用し、初期対応をどのようにおこなえば良いのかを、手順に沿ってご説明します。

14. 走錨事故防止

2時間 30分 (含む DVD 放映 35分)

内航向け

外航向け

▶走錨事故を防止するために、操船者に求められる「走錨が何故発生するのか、そのメカニズム」、「走錨中の船体姿勢制御の難しさ」、「万が一走錨しながら漂泊した場合に備え、姿勢制御可能となるまでにどの程度の水域が必要か（安全な錨地の設定）」について、操船者の立場から説明します。

《出張（個別）セミナーのご案内》

当組合では、定期的な公開ロspリセミナー開催に加え、各組合員様の安全会議等における出張セミナーもおこなっております。また、ご紹介した講演テーマを組み合わせるなど、講演内容等のご要望に応じて柔軟に対応いたします。

セミナーのご要望等は、貴社担当の弊組合契約部門または以下までお申し出ください。

日本船主責任相互保険組合 ロspリベンション推進部

Email: lossprevention-dpt@piclub.or.jp Phone: 03-3662-7229



詳しくはホームページへ

P&I 出張セミナー

検索